

第7回総合福祉部会

日 時：2010年9月21日（火）13：00～17：00

会 場：厚生労働省低層棟・講堂

会議情報・資料・動画配信について（厚生労働省HPのリンク）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/sougoufukusi/index.html>

山井政務官／政権がかわってから1年、その中で長妻前厚生労働大臣が自立支援法を廃止し新しい総合福祉法を作ることを宣言した。4月から低所得の方には障害者サービスに関して自己負担が無料という応能負担に転換した。来年度概算要求にある障害者福祉の予算と特別枠の政策コンテスト（注1）に掛かる予算が満額つくように皆さんとともに声をあげて行きたい。今後の課題は総合福祉部会の議論と並行して来年度の概算要求を満額確保し、財源の確保をはかること。

本日長妻前大臣から細川新大臣への引き継ぎが行われ、私も本日2時までが政務官としての任期。今までの政務三役は厚生労働省とは離れるが、これからは民主党障害者PTの中で皆さんと厚労省の橋渡しをしたい。

※注1：政策コンテスト 2011年度予算の概算要求基準で創設された1兆円超の「元気な日本復活特別枠」の配分を決める制度。各省庁が要望した施策について国民の意見を募り、国会議員や民間有識者による「評価会議」で絞り込み、首相が最終判断する。予算編成の政治主導をアピールするのが狙い。（時事ドットコム）

1. 議 事

(1) 「障害者総合福祉法」（仮称）の論点について

- ・利用者負担
- ・報酬や人材確保等
- ・その他

(2) その他

- ・作業チームについて
- ・全国障害児・者実態調査について

2. 主な意見（特に聴覚障害者、コミュニケーションに関して・その他）

(1) 論点G・H・Iについて

（論点表：「論点G、H、Iについて9月21日に議論していただきたいポイント」参照）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/sougoufukusi/2010/09/dl/0921-1_15_1.pdf

【H 報酬や人材確保等】

西滝／報酬、利用者負担の両方に関ると思うが、自立支援法の地域生活支援事業の中のコミュニケーション支援事業は市町村で手話通訳の派遣事業が行われている。実態をみると手話通訳者の交通費は本人が負担することと書き込まれた要綱が全国的にある。これは障害に伴う負担でもなく障害に関係しない費用でもなく、手話通訳者という社会資源に対して本人が負担をするという制度になっている。「コミュニケーションは権利」という考え方を持って我々は自由にどこに行ってもコミュニケーションをしたい。しかしそのために手話通訳者の交通費を負担するというのは権利があるとは思えない。そういう弱点を埋める制度にすることを、新しい総合福祉法の検討においては十分受け止めていただきたい。

(2) その他

【作業チームについて】

部会作業チーム・合同作業チームのメンバー案発表（資料参照）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/sougoufukusi/2010/09/dl/0921-1_16_1.pdf

9月27日推進会議で承認を得る。

部会作業チーム1：「法の理念」

部会作業チーム2：「障害の範囲と選択と決定」①障害の範囲

②選択と決定・相談支援プロセス（程度区分）

部会作業チーム3：「施策体系」①訪問系

②日中活動とGH・CH・住まい方支援

③地域生活支援事業の見直しと自治体の役割

合同作業チーム1：「就労（労働及び雇用）」10～3月

合同作業チーム2：「医療」（1期）精神中心10～12月（2期）その他の医療1～3月

合同作業チーム3：「障害児支援」10～3月

全部で9班 合同作業チーム1と3以外は10～12月

○部会作業チームスケジュール

10月第1回 意見交換

11月第2回 「まとめ」のたたき台の提示

12月第3回 「まとめ」の素案提示

1月 「まとめ」提出

作業チームから協議概要を11月12月の部会に報告し、部会で協議検討したうえで1月に取りまとめる。

○作業チームの協議項目は

7～9月の論点A～Iの協議内容と推進会議の議論をベースに、事務局が作成した資料を用意する。

9月27日座長打ち合わせ会。

10月からチームに分かれて話し合いをする。座長が副座長を指名、月1回では時間が足りないのでメンバー間でメールやFAXを使って相談は可。

他のチームへの意見はメールやFAXでチーム座長に提出する。

【全国障害児者実態調査に関するワーキンググループの報告】参加者13人

平野委員から調査の基礎骨格（案）の説明

まだ議論の必要がある。

全国在宅障害児・者実態調査（仮称）に関するヒアリングを9月30日、10月1日で各団体におこなう。

施設・病院の調査は来年度にしたい。但し予算との関係で不確定。

西滝／実態調査についてろう者の実態は本人ではなく環境にあるということ。たとえばテレビに字幕がない、手話通訳がないことが一番のバリアになっている。それがこの調査ではでてこない。そういう部分が別にあることを調査のまとめの中を出してほしい。

3. 今後の予定

次回以降の部会（作業チーム）の開催について

全体会議→作業チーム→全体会議

第8回：10月26日（火）、第9回：11月19日（金）、第10回：12月7日（火）

4. 西滝構成員所感

全国障害児・者実態調査（案）も従来の医学モデルの内容になっており、ろう者の実態把握には結びつかない。本日、新たに「地域生活支援事業」の小チームのメンバーに入ったのでコミュニケーション支援事業の在り方を知事会や市長会の委員メンバーと検討していきたい。フォローを全国の皆さまよろしくお願いします。